資料６

多面的価値の創出

１　多面的価値の創出

廃棄物処理施設の整備にあたっては、廃棄物の処理機能に加え地域エネルギー供給拠点、災害時の防災拠点、環境学習拠点などの機能を持たせることで、地域の魅力向上や課題解決に資する施設として、価値を高める取り組みが進められています。

多面的価値の創出に関するイメージとしては、「芦屋市環境処理センター施設整備基本構想」において以下を示しています。

ごみ焼却施設・資源化施設	焼却エネルギーを発電や温水に利用、環境学習、資源ごみ持ち寄りステーション環境にやさしい素材とユニバーサルデザイン、建物意匠工夫による周辺景観との調和、壁面緑化、緑化拠点（市民参画）、太陽光発電施設　等
その他（付帯設備等）	市民の憩い・集いのスペース、健康増進機能、屋外（芝生広場）での展示・映像の設備による環境学習、焼却エネルギーの地域還元（電気自動車充電設備）、災害廃棄物の仮置場の確保、防災トイレ　等